

赤名湿性地植物群落視察のご案内

生物多様性研究分科会では、秋季に1泊2日の現地視察を予定していますが（詳細は検討中）、それに先立ち、夏季の赤名湿性地植物群落を訪ねてみたいと思います。

飯南町にある赤名湿性地植物群落（昨年、冬に行きましたが・・・）は、四季折々、多様な植物が花を咲かせます。夏は、サギソウやモウセンゴケなどが花を咲かせます。食虫植物であるモウセンゴケは、虫を捕まえるための特殊な形をしています。花をみると普通の植物と同じです。



サギソウ



モウセンゴケ（全形）



モウセンゴケの花

いずれも、湿原（特に、中間湿原）と呼ばれる特殊な立地に生育しており、島根県内でのこれらの植物の分布は、ごく一部の箇所に限られます。また、この時期は、世界でもっとも小さいトンボとされる「ハッチョウトンボ」の姿を見ることができるかもしれません。（右の写真：10円玉と比べてみて下さい）



まだ暑い時期が続きますが、夏の赤名湿性地植物群落を散策してみませんか？

急な案内で申し訳ありませんが、ご家族づれも歓迎です。お子様の夏休みの観察をかねて参加されてはどうか。

〔夏季の赤名湿性地植物群落の視察〕

■日時：平成25年8月11日（日）

■スケジュール

- ・10:00 赤名湿性地植物群落 駐車場に集合
- ・10:00～12:00 赤名湿性地植物群落の散策（地元の方が整備している散策路もみたいと思います）
- ・12:00～13:00 昼食及び意見交換
- ・13:00 解散（時間の許す方は、飯南町の他の見所の視察も）

■連絡先 生物多様性研究分科会 幹事 大嶋 辰也

(090-6849-3152、t-oshima@wesco.co.jp、)

■ 集合場所

【赤名湿地性植物群落】…少々わかりにくいです。途中、看板もあります。

